

学校名： 安芸太田町立戸河内小学校

授業者： 〇〇 〇〇

教材作成者： 〇〇 〇〇

授業日時	令和3年10月27日(水)	教科・科目	算数科
学年・年次	第1学年	児童生徒数	21名
実施内容	かたちあそび	本時/この内容を扱う全時数	3/4
教科書及び教科書会社	新しい算数 東京書籍		

授業のねらい(本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につながるために行うか)

本単元は、立体図形や平面図形についての基礎となる経験を豊かにし、色や大きさ、材質に関係なく形を認め特徴をとらえることをねらいとしている。本時では、いくつかの形を仲間ごとにわかる活動を通して形の特徴をとらえる学習を行う。

メインの課題(授業の柱となる、ジグソー活動で取り組む課題)

【課題】
 形の特徴をとらえ、なかまわけを行う。
 ※本時では、直方体と立方体についてどちらも「箱の形」として扱う。
 児童から「ましかくの箱」などの言葉がでた場合は取り上げる場面をつくる。

児童生徒の既有知識・学習の予想(対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。)

本時までには、形を扱う学習はしていないが、生活や遊びの中で様々な形を目にしている。本時では、図形の特徴を角や面、機能などに着目しながら仲間わけを行う。球と四角を弁別し説明することができる児童は多いが、円柱と球の違いの理解や説明が困難な場合があると想定する。

期待する解答の要素(本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準)

○色や大きさ、材質ではなく形を見て判断し仲間わけができること。

【説明のキーワード】
 形 …かど・たいら・まるいところ・しかく・ぺたんこ
 機能…転がる・立つ・おける・かさねられる

など

- 各エキスパート＜対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください＞
- ㊸ 「どんな置き方をしてもコロコロ転がる形：ボールのかたち」
ボールのかたちに着目して、どこで判断できるか特徴を話し合う。
 - ㊹ 「転がるが置き方を変えると立つかたち：筒のかたち」
筒の形に着目して、どこで判断できるか特徴を話し合う。
 - ㊺ 「どんな置き方をしてもしっかり立つ：箱のかたち」
箱の形に着目して、どこで判断できるか特徴を話し合う。

シグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容

- ・形の特徴に着目して、仲間わけを行い形に名前をつける。

かたちの なかまに わけてみよう！



(例)

- ボールのかたち・まんまるのかたち
- 🗑️ つつのかたち・ながまるのかたち
- 📦 はこのかたち・しかくいのかたち

本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	かたちづくりあそび	作りたいものに近づけるために、どの形を使うか、よく見て決める。
本時	形ごとの特徴をとらえ、なかまわけを行う。	色や大きさ、材質にとわられず形を見てその特徴をとらえる。
次時	かたちをうつして絵を描く。	立体の中にある面の形に着目して形の構成の素地を養う。
この後	かたちづくり（別単元）	

上記の一連の学習で目指すゴール
立体図形や平面図形についての基礎となる経験を豊かにし、形の特徴をとらえることができる。

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
7分	<p>1. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">課題</div> <p>かたちごとに仲間わけをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入として、前時をふりかえりながら、使った形とどんな風に使えたかを共有する。(かたちづくりをしてあそんだこと) 本時は協調学習スタイルを進めていくことを伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> にているかたちの なかまにわけて なまえをつけよう。 </div>		
8分	<p>2. エキスパート活動 それぞれの資料について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各エキスパートに資料は1つで、実物を用意し、触ったり見方を変えたりしながら観察させる。 グループで、それぞれの形の仲間に分けさせる。 シグソーの際は、言葉で言えればよいことを伝える。
10分	<p>3. シグソー活動 グループに分かれ、メイン課題の仲間わけをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最初は、各エキスパートの資料の交流を行う。 グループで話し合いながらなかまわけをする際も、形のどこに着目したのか説明しやすいよう具体物を用意し、みんなで確かめられるようにする。
15分	<p>4. クロストーク 自分たちのグループが、どんなところに着目して解決したのか説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> どこを見てどうだったから、この仲間にした。という理由も発表することを伝えておく。
5分	<p>5. まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶コロコロ転がる…ボールのかたち ▶転がるけど立てられる…筒のかたち ▶しっかり立つかたち…はこのかたち 	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに考えを発表し、考え方を整理していく。 考えをまとめる際に、形ごとに名前をつける。

<p>グループの人数や組み方</p> <p>エキスパート班は (3人×3班・4人×3班)</p> <p>シグソー班は (3人×3班・4人×3班)</p>
--